

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jim@geppou.asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487 迄 Fax でお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

東京工業大学・理工学研究科・基礎物理学専攻助教授

1. 助教授 1 名
3. 宇宙物理学 (理論)
5. 決定後なるべく早い時期
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 業績リスト, (4) 主要論文別刷 5 編以内, (5) 着任可能時期, (6) 研究計画, (7) 推薦書一通または応募者に関してご意見を伺える方 2 名の氏名と連絡先
8. 2001 年 8 月 31 日 (金) 必着
9. 〒 152-8551 目黒区大岡山 2-12-1
東京工業大学・理工学研究科・基礎物理学専攻
細谷暁夫
Tel / Fax 03-5734-2463
10. 封書に「応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと。原則として、応募書類は返却しない。

京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻教官

1. 教授 1 名
2. 物理学・宇宙物理学専攻物理学第二分野、天体核物理学研究室
- 3, 4. 天体核物理学
5. (1) 決定後なるべく早い時期
7. ○履歴書, ○業績リスト, ○主要論文別刷 5 編程度, ○現在までの研究概要, ○着任後の研究計画, ○着任可能時期, ○他薦の場合は上記書類(研究歴、研究計画を除く)の他に推薦書
8. 2001 年 8 月 31 日 (金) 必着
9. (1) 〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科物理学第二教室
主任 西川 公一郎
(2) 同上 犬塚修一郎
Tel: 075-753-3883
inutsuka@tap.scphys.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒に「応募書類在中」又は「推薦書在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと

研究助成

第 15 回日本 IBM 科学賞

日本天文学会に標記の案内がきております。その概要をお知らせします。推薦書類は天文学会事務所にありますからお申し出下さい。応募締切は 8 月 15 日 (水) 消印まで有効。

名称：日本 IBM 科学賞
目的：わが国における基礎研究の振興と若手研究者の育成
候補者資格：

- 1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その研究活動の分野が、つぎのような領域に該当する基礎研究者 (国籍は問わない)
(1) 物理
(2) 化学
(3) コンピューターサイエンス
(4) エレクトロニクス
- 2) 平成 13 年 8 月 15 日現在満 45 歳以下であること
受賞件数：6 件 (原則として 1 件 1 名とします)
推薦方法：国内の大学あるいは公的研究機関等に所属されている方の推薦

選考：審査委員会により決定する
 賞金：300万円（1件当たり）
 発表：推薦者を通じて通知（10月下旬予定）
 送付先：〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社
 「日本IBM科学賞」事務局
 局(HQ-YA4)

連絡先：

【事務局】Tel: 03-5563-4835

E-Mail:

ibmkagaku@lbs.co.jp

日産科学賞等について

上記の推薦依頼が天文学会にきて
 おります。推薦用紙は天文学会事務局にあります。

第9回日産科学賞候補者推薦要領

1. 趣旨

若手・中堅の研究者で、特に顕著な業績にたいして表彰し、励ましと研究の発展を期待して支援をする。

2. 推薦基準

自然科学分野（人文・社会科学分野との複合領域を含む）で、下記により学術文化の向上発展に大きな貢献をした満50歳未満（平成14年3月末時点）の公的研究機関に所属する研究者とします。

a) 学術研究上重要な発見をした

b) 新しい研究分野を開拓した

※45歳以下で上記基準に該当する方がおられる場合は、優先的にご配慮願います。

3. 推薦者：学会の代表者

4. 推薦依頼数：1名

5. 賞の内容：正賞……賞状、純金メダル

副賞……研究奨励金500万円（用途は自由ですが一時所得として後日申告が必要）

6. 賞の贈呈：平成14年3月

7. 推薦手続：所定の用紙に必要事項を記入し、天文学会に提出して下さい。（用紙は天文学会に用意してあります）

8. 学会締切：平成13年8月15日(水)

第28回日産学術研究助成募集要項

助成プログラムの要約

研究の種別	総合研究	海外共同研究	奨励研究
研究の性格	学際的共同研究	学際的調査研究	独創的個人研究
対象分野	2課題		4課題
対象研究者	制限なし		中堅・若手研究者* (40歳以下)
1件当たりの助成金額 (採択予定件数)	～1000万円 (8件程度)	～500万円 (5件程度)	～200万円 (30件程度)
助成金の支払期間	・平成14年度を第1年次とする ・助成期間2～3年	・平成14年度を第1年次とする ・助成期間2年	・平成14年度を第1年次とする ・助成期間1年
募集方法	天文学会へ提出		推薦 (学会・協会、委員)

上記助成金の総額は約1.6億円

*1961/4/2以降生まれの研究者

1. 助成の対象分野

I. 総合研究および海外共同研究

◆研究課題

1. 「人間－自然環境系」に関する研究
2. 「人間－人工環境系」に関する研究

II. 奨励研究

◆研究課題

1. 人間特性に関する基礎研究
2. 地球表層環境に関する基礎研究
3. 新機能材料の創製、物性・新プロセスに関する基礎研究
4. 生命現象の理解に関する基礎研究

2. 申請者の資格等

日本の大学など非営利の学術研究機関に所属する常勤研究者（国籍不問）であること。

3. 申請方法

(1) 総合研究および海外共同研究

天文学会事務局に提出して下さい。

(2) 奨励研究

当財団が指定する学会・協会（別紙参照）の推薦を要しますので、各学会・協会に申請して下さい。ただし、各学会・協会には原則として申請のあった全件の推薦を依頼しております。

他の学術研究費、研究助成金などの重複申請は極力避けて下さい。

4. 提出期限

直接公募および学会・協会推薦とも、平成13年8月15日(水)までに天文学会事務局必着のこと。

5. 資料請求・問い合わせ先

財団法人日産科学振興財団

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-9

Tel: 03-3543-5597 Fax: 03-3543-5598

e-mail: at02-nsj@t3.rim.or.jp

URL <http://www.t3.rim.or.jp/~at02-nsj>

研究会・集案案内

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所及び名古屋大学太陽風観測所の特別公開について

日時：2001年8月11日(土)

：展示と解説 10時～17時

天体観望会 19時半～21時半

開催場所：〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

内容：東京大学木曾観測所及び名古屋大学太陽風観測所を一般の皆様にご公開いたします。普段見ることのできない望遠鏡の動きや、測定装置を見学できるほか、観測所の最新の研究成果が見られます。また、当日の夜には、大型シュミット望遠鏡と小望遠鏡を用いて天体観望会を開きます。

- 1) 木曾観測所及び太陽風観測所の公開と説明
- 2) 望遠鏡のデモンストレーション
- 3) 研究活動の紹介
- 4) 天体写真の展示及び販売
- 5) 天体観望会(雨天中止)

備考：当施設への交通手段については、JR中央西線木曾福島駅あるいは上松駅より車で約30分です。観測所から6kmのところまでバスの便があります(1日数本)。清涼飲料の販売はいたしますが、食堂はありませんのでご注意ください。

問い合わせ先：

木曾観測所：

〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp>

太陽地球環境研究所：

〒442-0061 愛知県豊川市穂の原 3-13

Tel: 0533-89-5175 Fax: 0533-85-3882

<http://stesun5.stelab.nagoya-u.ac.jp>

鹿島宇宙通信研究センター施設一般公開のお知らせ

独立行政法人通信総合研究所鹿島宇宙通信研究センター(旧郵政省通信総合研究所鹿島宇宙通信センター)では、下記のように施設の一般公開(無料)を行います。詳細情報については後日、鹿島宇宙通信研究センターホームページで御案内します。

【日時】2001年7月28日(土)午前10時～午後4時

【場所】茨城県鹿嶋市平井 893-1

独立行政法人通信総合研究所 鹿島宇宙通信研究センター

【最寄り交通機関】

- 1) 東京駅八重洲南口4番乗り場発「鹿島神宮」行きバス乗車 「鹿島宇宙通信センター前」下車 八重洲南口からの所要時間約2時間、料金1,780円
★「鹿島神宮」行きの中には「鹿島宇宙通信センター前」を通らないものがあるので、御乗車の際に御確認下さい。
- 2) JR 鹿島線鹿島神宮駅より関東鉄道バス「宇宙通信センター」(または「電波研」)行き乗車、終点「宇宙通信センター」で下車

【内容】研究所展示室の公開、各研究グループの研究紹介等

【問合せ先】Tel: 0299-82-1211

【参考ホームページ】

<http://www2.crl.go.jp/ka/index-j.html>

岡山天体物理観測所、岡山天文博物館の特別公開のご案内

国立天文台・岡山天体物理観測所(OAO)と鴨方町・岡山天文博物館は、来る8月5日(日)に特別公開を行います。この特別公開は、「施設公開(昼の部)」と「天体観望会(夜の部)」の2部構成です。

施設公開(10:00～16:00)では、OAOの観測施設(望遠鏡ドーム)を公開します。国内最大の望遠鏡を間近に見ることができるほか、OAOで行われている最先端の天文学研究について職員がわかりやすく解説いたします。また岡山天文博物館では、OAOで行われている天体のスペクトル観測をより身近に体験するために、簡単な分光器の工作教室が開かれる予定です。

天体観望会(20:00以降、1時間程度)は、OAOの188cm反射望遠鏡および91cm反射望遠鏡にて行います。天体観望会に参加するには事前申し込みが必

要になりますので、〈天体観望会〉の項に示した要領にしたがってご応募ください。

日時：2001年8月5日〔日曜日〕

施設公開（昼の部） 10:00～16:00

天体観望会（夜の部）20:00以降、1時間程度

場所：岡山県浅口郡鴨方町本庄 国立天文台・岡山天体物理観測所および岡山天文博物館

〈施設公開（昼の部）〉

- ・時間：10:00～16:00。
- ・内容：188cm、91cm 反射望遠鏡ドームの公開。観測設備と研究の紹介。岡山天文博物館はプラネタリウム映映、太陽観測のほか、工作教室を予定。詳細は観測所 HP にて紹介。
- ・申し込み方法：事前申し込みは不要。お気軽にお越しください。
- ・交通：普通車 50 台程度駐車可。
山陽自動車道・鴨方インターから車で 10 分。
JR 山陽線鴨方駅から井笠バスの便（1日4本）あり。JR 鴨方駅からタクシーあり（15分、2500円程度）
- ・備考：観測所近辺に食堂・売店はありません。ご注意ください。

〈天体観望会（夜の部）〉

- ・時間：20:00 以降、1 時間程度を予定。
- ・内容：188cm 反射望遠鏡、および 91cm 反射望遠鏡による天体観望会。
- ・申し込み方法：事前申し込みが必要。7月6日(金) 必着で、往復ハガキに代表者の住所、氏名、電話連絡先のほかに、参加者の総数と全員の氏名をもれなく記入のこと。参加者総数はハガキ1枚につき4名まで。小学生は保護者同伴のこと。定員50名（応募者多数の場合は抽選）

ハガキ宛先：

〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄 3037-5
岡山天体物理観測所 特別公開係

- ・交通：観測所が手配するバスにて、JR 鴨方駅と観測所の間を送迎。
- ・備考：申込者全員に7月13日(金)までに結果の連絡を行います。

問い合わせ先：

国立天文台・岡山天体物理観測所
〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄 3037-5
Tel: 0865-44-2155(代表) Fax: 0865-44-2360
URL : <http://www.cc.nao.ac.jp/oa/>

2001 年度 高校生天体観測会 (Astro-HS 2001) の実施について (第 1 報)

高校生天体観測ネットワーク (Astro-HS) 実行委員会
astro-hs.net

今年は2つの天文現象が話題になります。8月16日未明の木星食、11月19日未明のしし座流星群です。両方とも大変見ごたえがありますので、多くの人を楽しめるはずで

でも私たちは、楽しむだけでなく、一歩ふみこんで、この2つの現象を観測し、サイエンスします。はじめて天体観測をする高校生でも、全国数千人が集まれば、月の精密な地図やしし座流星群の精密な分布地図などが描けます。プロの天文学者が最新の機器を使っても容易にはなしえないことです。そして高校生の手による学会発表も予定しています。

私たちは、宇宙へ挑戦をする高校生を募集します。天体観測の経験の有無も、知識も、理科の成績もまったく関係ありません。興味をもったら、ぜひ私たちに連絡してください。

● はじめに

国際宇宙ステーションが着々と建設され、天文学者は百億光年彼方の宇宙を語る 21 世紀になりました。多くのなぞを残す宇宙は、あこがれの存在であり、また、人類に残された最後のフロンティアです。しかし、学校ではほとんど宇宙のことにふれません。高校生の宇宙へのあこがれにこたえたい。そんな思いから「高校生天体観測会」ははじまりました。

● 観測会の歴史

1998 年のしし座流星群を機会にはじまった「高校生天体観測会」は、全国の高校生が同じ方法で同時に天体現象を観測するものです。1999 年には海外の高校生も加わり、2000 年には望遠鏡などの装置を使った観測も行いました。そして、全国の数 100～数千人の高校生がこの観測会に参加してきています。観測の成果は、参加した高校生の手により日本天文学会や、各地の科学発表会、コンテストなどで発表され、高い評価を受けています。また、高校生のほとんどは本格的な天体観測をしたことはなく、星空をサイエンスすることの楽しさや難しさなどを経験して成長し、また他の参加者とともに新たな交流もはじまっています。

● 今回の観測会

そして 2001 年。最初に参加した高校生が全員卒業した今。私たちは原点に戻り、だれでも参加でき、そし

て奥がふかいテーマを選びました。8月16日未明の久々に観測条件がよい木星食、11月19日未明日本周辺地域での大出現が予報されているしし座流星群を、全国、そして全世界の高校生が共同で観測します。スケジュールは次のようになっています。

● 参加方法

▽チーム構成

参加は高校生を中心としたチーム単位になります。チームは大人が世話人となり、1人以上の高校生で結成します。つまり最小単位は高校生1人+大人1人です。なお、参加後にチームを増員するのは自由です。

▽申し込み・登録

チームが決まったら、事務局にインターネットや郵便で参加申込をします。申込受付後、事務局から観測方法などの資料を送付します。また、インターネット上でもこれら資料を入手できます。

(WEB ページ <http://www.astro-hs.net/>)

▽観測報告

その資料にしたがってチームが独自の工夫をしながら観測を行い、その結果を事務局に報告します。報告された資料は集計し、全国の高校生の観測データが参加者全員に配布されます。参加チームが配布されたデータをもとにして研究をしたり、発表をするのは自由です。

● スタッフ・連絡先

▽高校生天体観測ネットワーク Astro-HS

▽代表：渡部潤一（文部科学省・国立天文台広報室長）

▽連絡先（総合事務局）

e-mail: suzuki@astro-hs.net

Tel: 0489-58-2331（9時～17時）

Fax: 0489-49-1024（より確実です）

住所：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-325

担当者：鈴木文二（埼玉県立三郷工業技術高校・理科）

● 共催・後援（予定ふくむ）

▽共催

天文教育普及研究会、日本天文学会、日本惑星科学会、東亜天文学会

▽後援

文部科学省国立天文台、天文学振興財団、文部科学省・宇宙科学研究所、日本理科教育学会、日本地学教育学会、日本理科教育協会、日本流星研究会、東京近郊地区流星観測者会、日本プラネタリアム協会、日本プラネタリアム研究会、全日本プラネタリアム連絡協議会、全国天体観測施設の会、全国科学博物館協議会、日本HOU協会

日本物理学会 2001 年度科学セミナー

「21 世紀、物理はどう変わるか」

期 日：2001 年 7 月 19 日(木)～20 日(金、祝)

会 場：野口英世記念会館(新宿区大京町 2 6)

プログラム：第 1 日目 1 時間の講演が 6 件

第 2 日目 〃 5 件

聴講料（消費税込み、テキスト 1 冊込み・7 月 13 日頃発送予定）：

○大学生（院生も含む）以下 3,000 円

○会員（天文学会会員も含む）5,000 円

○一般 7,000 円

定 員：300 名（先着順とし、定員に達し次第締切）

申込み方法：聴講料を添えて(現金又は郵便小為替に限り)ます)下記申込先に便送して下さい。

申込先：〒105-0011 港区芝公園 3-5-8

機械振興会館 211 号室

(社)日本物理学会科学セミナー係

Tel: 03-3434-2674

聴講券：聴講申込者には聴講券をお送りします。受講の際は必ずご持参下さい。

国立天文台野辺山 特別公開のお知らせ

文部科学省 国立天文台
電波天文学研究所
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

国立天文台野辺山では、天文知識の普及と観測所業務の広報とを目的として、下記の要領で、特別公開を開催いたしますのでご案内申し上げます。

日 時：2001 年 8 月 25 日(土)

午前 9 時から午後 4 時まで

〈今年は例年より開催日が早くなりましたのでご注意ください。〉

内 容：

(1) 見学 ▶ 通常の見学コースのほか、45メートル電波望遠鏡・ミリ波干渉計・電波ヘリオグラフの各観測室、観測データを処理する計算機などを見学できます。

(2) 展示 ▶ 宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置のしくみや、最新の観測結果を展示します。

(3) 講演 ▶

「宇宙は爆発・ジェットだらけ!

—太陽フレアからガンマ線バーストまで」

柴田一成 (京都大学) 11:00 ~ 12:00

「暗黒の宇宙を電波でえがく

アンデスの巨大電波望遠鏡 ALMA (アルマ)」

長谷川哲夫 (国立天文台) 14:00 ~ 15:00

(4) その他 ▶ 工作体験コーナー・質問コーナーなど

交通:

・鉄道→JR 小海線野辺山駅下車徒歩 30分

(駅からの無料シャトルバスを運行)

・自動車→東京・名古屋方面から: 中央自動車道長坂

インターから清里高原有料道路を経て約 30分.

須坂インターから国道 141 号を経て約 40分.

→群馬方面から: 上信越自動車道佐久インター

から国道 141 号線を白田・清里方面へ約 80分.

その他:

・入場無料・雨天決行

・上履き (スリッパなど) を各自ご持参ください.

・天文台内では食事の提供・販売はいたしませんので
ご了承ください.

・天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります.

その他の自動車の方は、野辺山スキー場の駐車場を
ご利用ください (スキー場からの無料シャトルバスを
運行).

・特別公開当日は、会場準備の都合上 9:00 ~ 16:00
のみの開場となります.

問い合わせ先:

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台野辺山

Tel: 0267-98-4300 (代表)

ホームページ <http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

国立天文台三鷹キャンパス 解散

対象: 高校生または相当年齢の方 16名

参加費: 1万円程度 (3日間の宿泊費, 朝食・夕食代, 傷害保険料含む)

このほか、各自、会場までの交通費, 昼食・夜食代などが必要です.

応募方法: 「私が知りたい宇宙の謎」という題で、
800字 (400字詰め原稿用紙2枚) 程度の作文を6
月20日(水)までに国立天文台宛お送りください。
作文には、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、
学校名、学年を明記してください。

選考の結果は7月5日までに各人宛に通知いたします。

内容:

[7/30] 開校式, 講義, 研究テーマ決め, 観測実習
など

[7/31] データ解析, 観測実習など

[8/1] データ解析, 研究発表会など

[8/2] 講評, 施設見学, 開校式など

参加者4人でチームを組み、若い研究者たちと一
緒に観測, データ解析, 討論等を行うことで, 研究
活動の中で出会う困難の克服や感動, 科学の素晴らし
さ, 共同研究の大切さ等について共有しあえるよ
うなプログラムを目指しています。

宛先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 広報普及室

封筒の表紙に「君が天文学者になる4日間応募書
類在中」と朱書きしてください。

内容に関する問い合わせ先:

国立天文台 天文情報公開センター

縣 秀彦

Tel: 0422-34-3929 Fax: 0422-34-3810

e-mail: h.agata@nao.ac.jp

「君が天文学者になる4日間」参加者募集

国立天文台 主催

「君が天文学者になる4日間」では、研究テーマを
決めることから始まり、計画の立案、観測、データ解
析、研究発表まですべて参加者自身に体験していただ
きます。全国から集まった高校生が、4人でチームを
作り、若手研究者の支援のもと、協力して50cm望
遠鏡と冷却CCDカメラを用いて宇宙の謎解きに挑戦
するのです。研究テーマを決めるための予習キットが
送られてきたその日から、あなたの「君天」が始まり
ます。

期日: 7月30日(月)13時

国立天文台三鷹キャンパス 集合

8月2日(木)12時

会務案内

早川幸男基金受給者募集要項

早川幸男基金への次回の申請締切りは2001年9月
10日です。なお、この日より前回(2001年6月10
日締切り分)までとは、申請方法が大幅に変更され
ましたのでご注意ください。以前の申請用紙を用いた
ものは認められません。詳細は、天文学会のホーム
ページ <http://www.asj.or.jp/>の「早川幸男基金」の部分
をご覧ください。若手天文学研究者の皆様の積極的な
応募をお待ちしております。

早川幸男基金選考委員会

日本天文学会評議員候補者選挙に関する公示

評議員選挙管理委員会は、2001年の秋季総会に推薦される改選評議員（任期2002年～2005年）候補者の選挙について、定款第25条及び評議員選挙施行細則（以下細則という）に基づき、下記の通り公示する。

1. 選挙権及び被選挙権を有する者は、この公示の時点における正会員である。ただし非改選評議員（任期2000年～2003年）は被選挙権を有しない（細則3条による）。
2. 上記有権者には、有権者名簿及び投票用紙を発送する（細則4条による）。
3. 投票は、10名以内の無記名連記とする（細則5条による）。
4. 投票期間は、2001年7月10日（火）から2001年8月9日（木）（必着）までとする。
5. 選出された候補者の名簿は、2001年8月20日発行の天文月報（94巻9月号）にこれを発表する（細則7条による）。
6. 選挙の詳細に関しては、上記2の有権者名簿及び投票用紙の発送に際して、これを通知する。

2001年6月20日

選挙管理委員会委員長 関井 隆

●事務室だより●

会費納入のお願い

天文学会は主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。天文学会は会計年度が1月～12月です。前納をお願いしていますが、今年度会費未納の方はなるべく早く2001年度会費を納入して下さい。年会費納入時に、春・秋季年会予稿集の予約をしている方は予稿集代金も加算してご納入下さい。予約されている人は、天文月報の郵送封筒の宛名の下段に“予”の字が印刷されています。（予稿集の予約

は中止のお申し出がない限り自動的に継続されます）尚、2000年度会費の未納の方は2001年3月発行の刊行物より発送を中止していますが、退会のお申し出がない限り会費の支払い義務は有ります。

正会員（一般）	18,000 円/年
正会員（一般・予稿集あり）	22,000 円/年
正会員（学生）	13,000 円/年
正会員（学生・予稿集あり）	17,000 円/年
準会員	8,000 円/年
準会員（予稿集あり）	12,000 円/年

※学生の方は学生証又は在学証明書のコピーをお送り下さい。お送り頂かない時は正会員（一般）扱いとなります。

◎銀行口座引き落とし扱いのサービスを申し込まれている方は送金しないで下さい。（月報送付時の封筒のお名前下に“*J*”と印字されています）

◆当該年度会費を未納で、かつ、年度途中で退会を希望する方は退会時清算として、年度開始後（1月以降）お送りした刊行物の代金をお支払い頂きます。

天文月報 1冊 700円
 欧文報告 1冊 3,465円

◆会費の領収書が必要な方は葉書、電話、Fax、メール等でお申し出下さい。

◆会員の方々の管理は会員番号によっておりますので会員番号を必ず明記して下さい。

◆住所、所属、刊行物送付先等の変更のある方は郵便振替の通信欄を、その他の方法で会費をご送金の方は、葉書又はFax、e-mail等でご連絡下さい。

◆住所変更は毎月10日までに受け付けた分は新住所へ刊行物をお送りします。11日以降は翌月より新住所への発送となります。

◆ご不明の点がありましたら日本天文学会事務室迄お問い合わせ下さい。

e-mail: jimu@asj.or.jp
 Tel: 0422-31-1359
 Fax: 0422-31-5487

編集委員	上野宗孝（編集長）、伊藤孝士、上田暁俊、大石奈緒子、太田耕司、小野智子、斎藤芳隆、土橋一仁、内藤統也、藤田 裕
平成13年6月20日	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
印刷発行	印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12
定価700円（本体667円）	発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
Tel: 0422-31-1359（事務室）	／ 0422-31-5488（月報・欧文編集） Fax: 0422-31-5487
日本天文学会のウェブサイト	http://www.asj.or.jp/ 月報編集 e-mail: jimu@geppou.asj.or.jp
	社団法人 日本天文学会 啓文堂 松本印刷 社団法人 日本天文学会 振替口座 00160-1-13595 DTP: 峯尾由紀子